

が

んたん……  
んじつ……  
しょう……

もう松の内

過ぎてるからな？



ぎ

ゆりっ……

皿定食おぎってほしい

今たべたら  
晩×シミ入らんたろ

えっ、  
フツに  
オヤツだけと

780円 + 税  
牛皿定食  
腕八グ  
一回



# グ

パイズリだな？

一回やってみたかった  
んだよね

違えよ!!

そりゃパイズリじゃねえ!  
言うなりや「グーズリ」だ!

あ？

同じじゃねえか…

先輩Mだしさあ、この美少女の手でわたし

「圧壊」するのも気持ちいいかも

良いワケねえだろ!

くそっ…マジでやる気だ

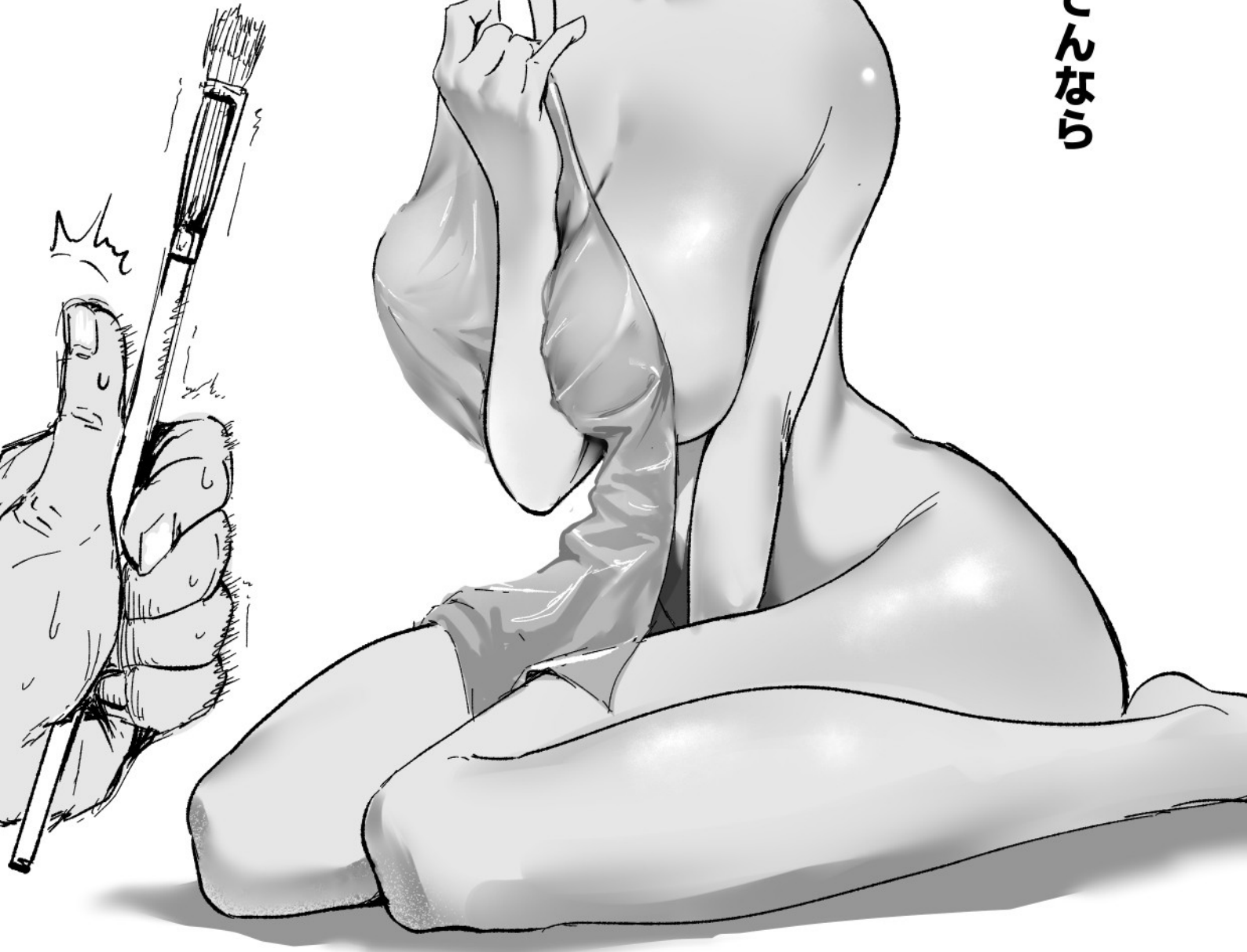
この怪力女!!



# げ

いじゅつの為ってんなら  
脱いでも良いよ

でも先輩の絵に芸術性が  
欠片も感じられなければ  
その目くり抜いてやるからな？



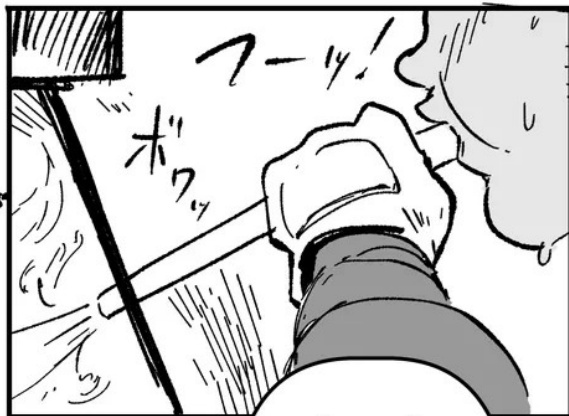
く

くらの  
えもん風呂



ゆーきゃんこんこ

あられや  
こんこ♪



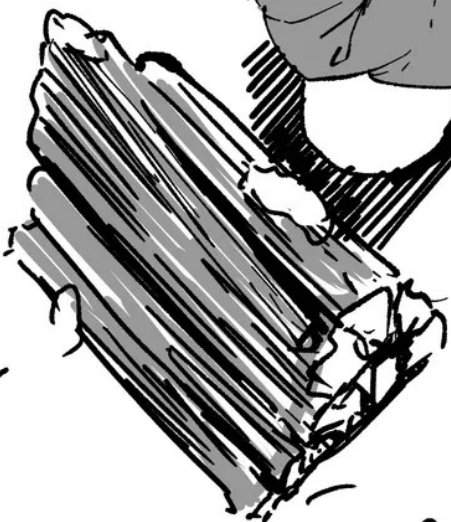
…あられも  
ない姿の

巨乳の後輩美少女の  
お風呂の世話するって  
どんな気持ち?  
**先輩。**

先輩も物好き  
だねえ

雪山でドラム缶風呂焚くために  
ロッチまで借りるなんて

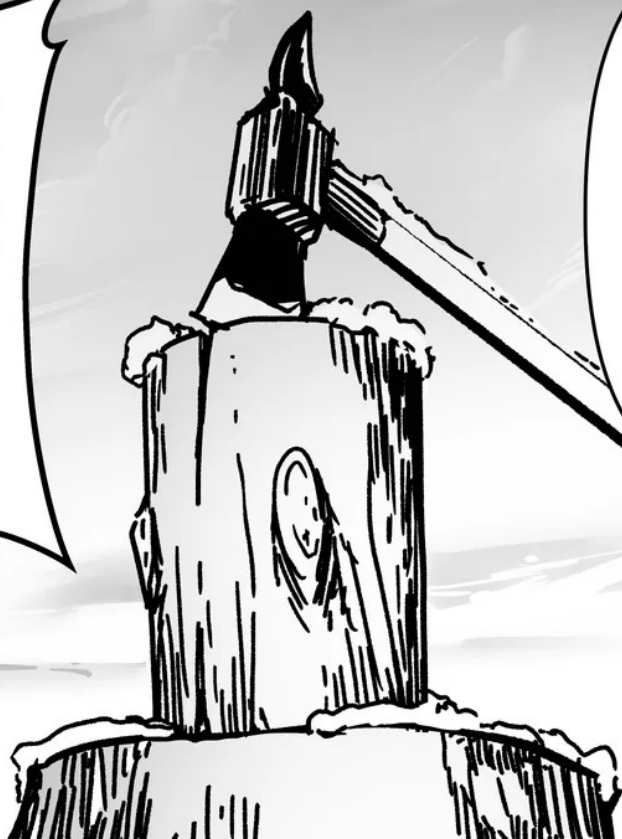
お前がやりてえ  
つつつたんだろ



え、私としては  
冗談のつもり  
だったんだけど  
誰かさんが

「二晩おっぱい好きに  
させてくれ」って

はいはい！  
わかりましたよ  
ワタクシですよ！





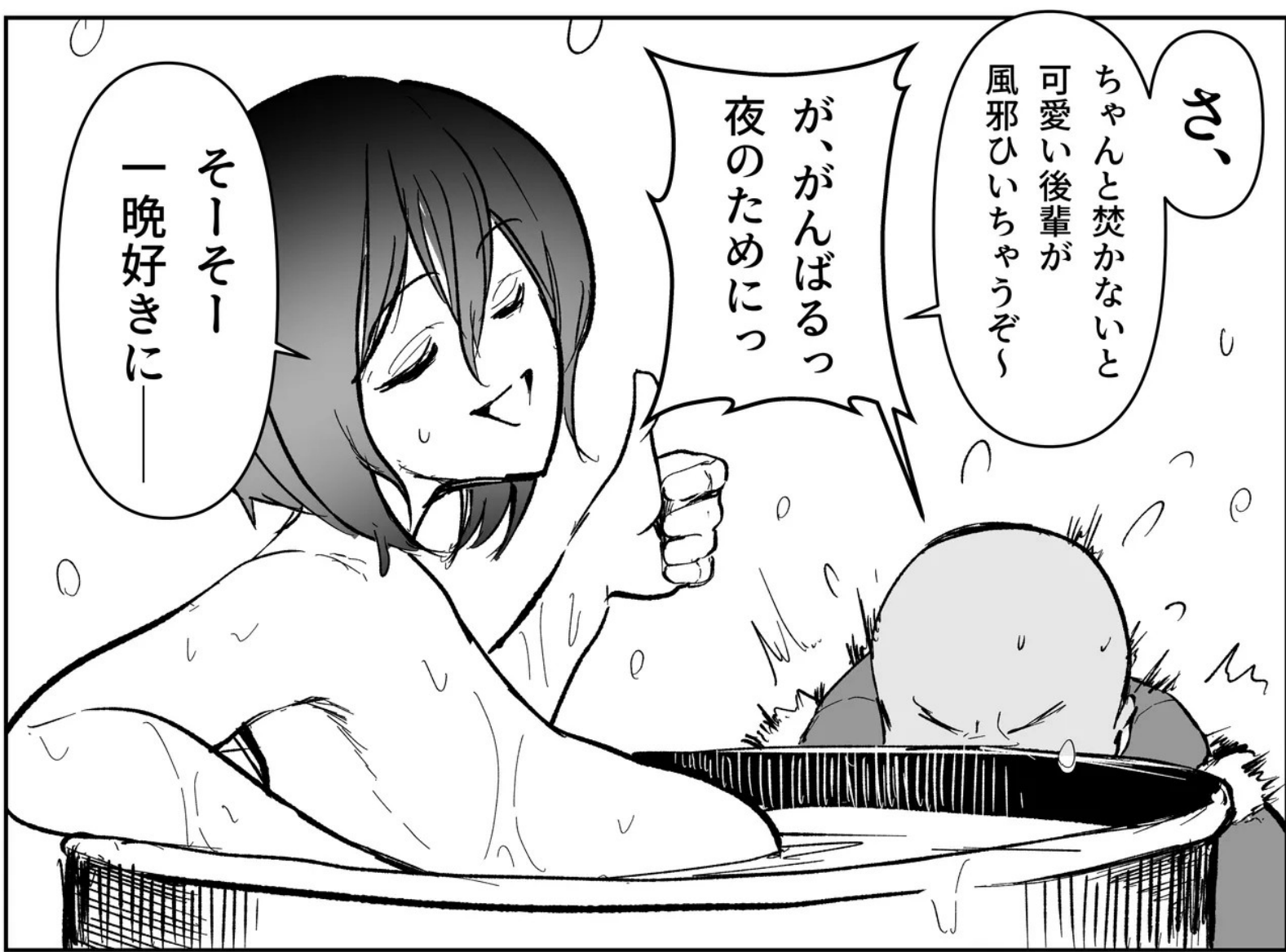
ここまでやってくれた  
お礼はしっかりするよ

ま、そう腐るなって

んゝまあ普通に一晚  
私の胸に包まれる  
だけでも一生分の  
幸せ得られるでしょ？

あゝいいなあ(笑)

今のうちに機嫌取っておけば  
「あゝんな事」「こゝんな事」  
とか…もう無限入りますって感じ  
で色々出来るんじゃない？



さ、

ちゃんと焚かないと  
可愛い後輩が  
風邪ひいちゃうぞ〜

が、がんばるっ  
夜のためにつ

そーそー  
一晩好きにー

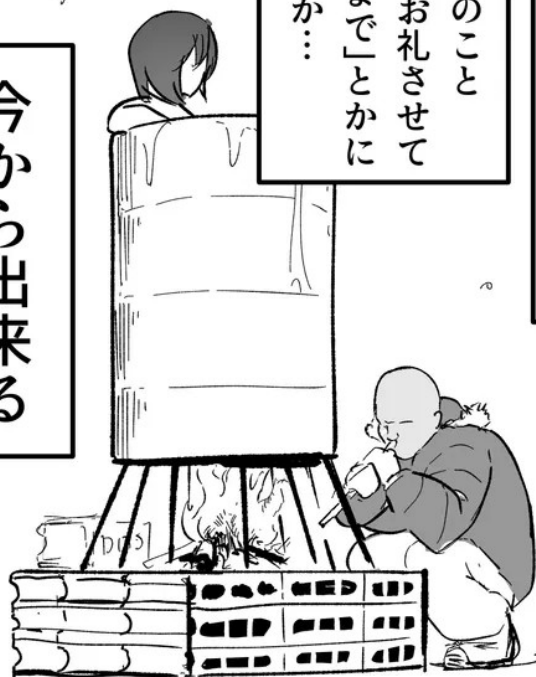
ん…待てよ  
一晩…

先輩なら朝まで  
付き合わされるかも…  
流石に気持ちよく寝たいぞ

どうする…先輩の体力なら今から  
フルマラソンさせてもやるだろう

いっそのこと  
ここでお礼させて  
「12時まで」とかに  
させるか…

今から出来る  
お礼…



4ラ



ね、先輩っ

どうせならさ

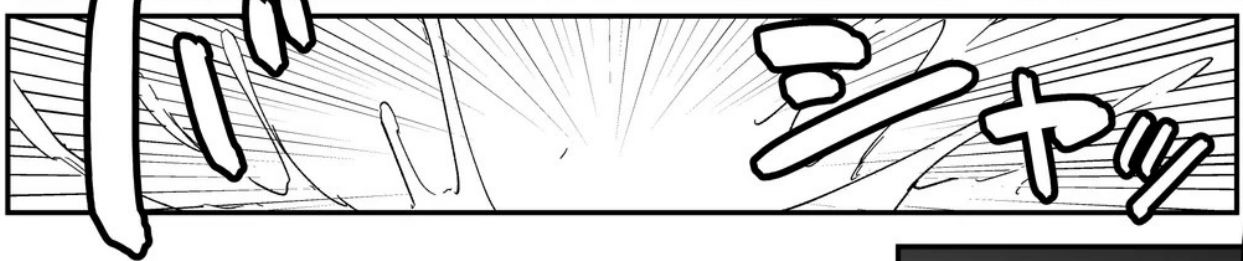
今ままで一緒に  
お風呂入らない？

先輩も  
寒いでしょ

ただし、今夜の  
ご褒美は夜の  
12時まで！



それ以降は体に触れたり  
起こしたりしない…  
(てか寝かせろって感じ)  
でどうよ？



ちよつと！キッツいんだけど？  
先輩っ 一旦出てよ！

無理だ！

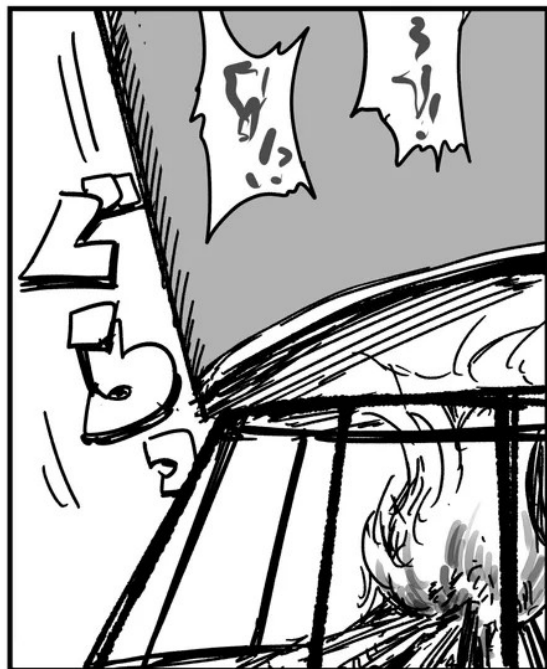
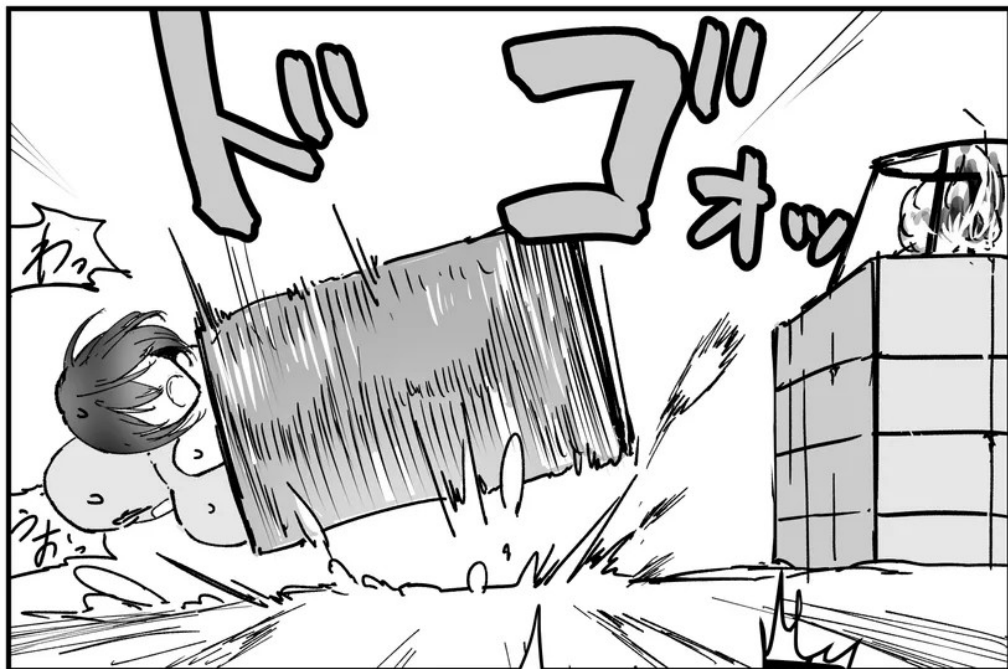
ガツチリ

ハマってる！

わかった！その  
103 cmのJカップの  
反発力が――

その無駄な  
バルクのせい  
だろうが！！

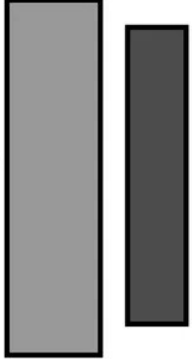






ん……む  
無事か？  
羽雅音

な、なんとか



一体  
どういう  
原理なのか

なぜかお湯が  
こぼれないし  
殆ど冷めてない

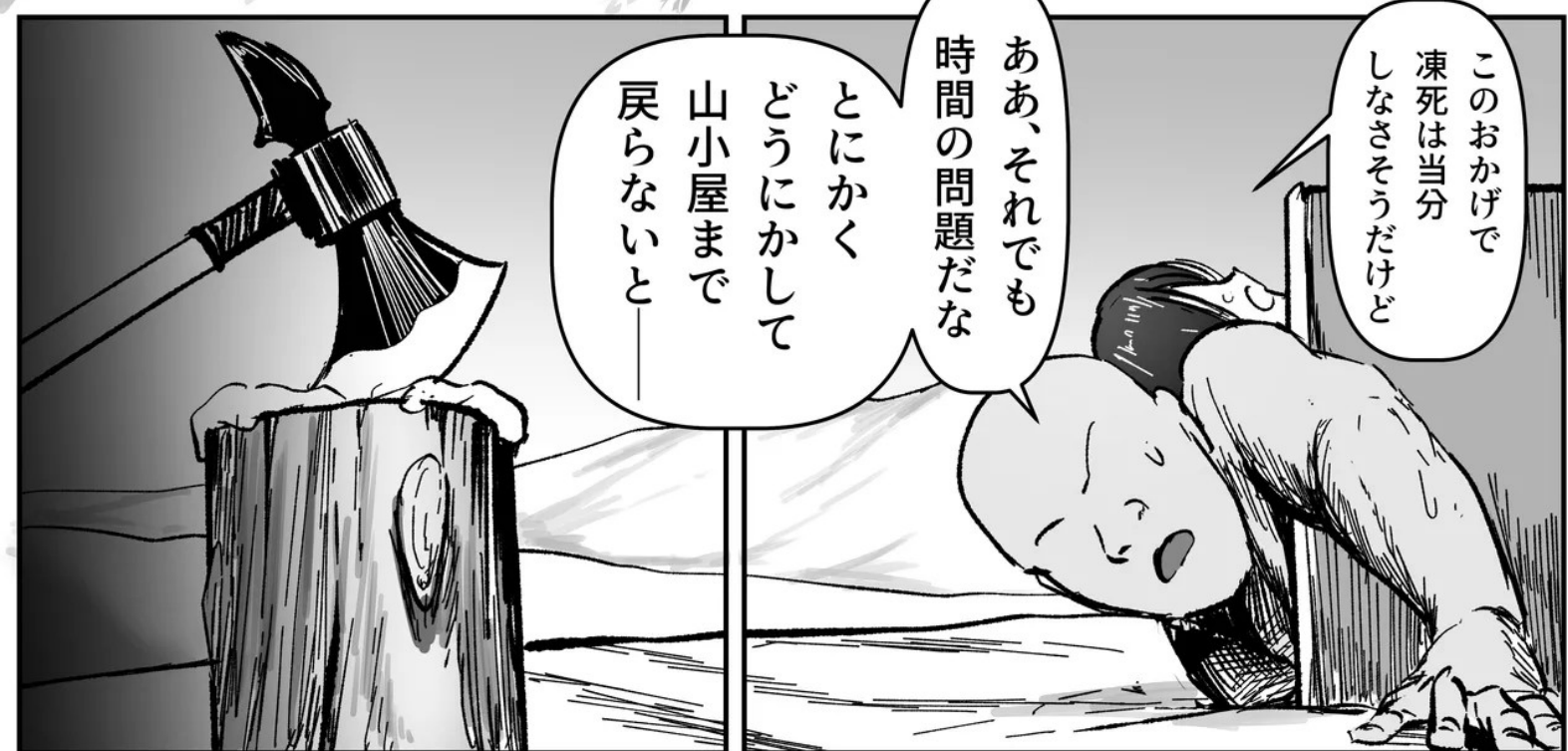


先輩は？

死にそう

あ、そう。

それより  
不思議なんだけど



このおかげで  
凍死は当然  
しなさそうだけど

ああ、それでも  
時間の問題だな

とにかく  
どうにかして  
山小屋まで  
戻らないと

先輩っ！

マジでこれやるの!!

てかコレ  
見た事ある！

Getoing  
over it  
た!!

ワーハハハ！

丘の下でも  
薪割りしてて  
よかったぜー！

よしっ！

山頂…いや

宇宙空間

めざすぞー！

今日はお疲れさん！  
ドラム缶風呂めっちゃ  
気持ちよかった！

じゃ、何から

したい？

そ……その、  
バスローブの上から  
おっぱい触りたいっ

…マニアックな  
奴め……  
だからローブなんて  
用意してたのか？



前から思ってたけど  
先輩なんで余裕あるの？

え？そう？

結構興奮してるぞ！

いや、普通はさ...

こんな美少女の

完璧ボディ見ただけで

どう触っていいか

迷うもんだと思うけど

たぶ...

モ〜...

あ〜...そりやどう触るか

イメトレしてたからな！

うわあ...じゃあ  
結構初めの時から  
私の胸触る  
妄想してたのかよ...

このバスローブ越しの感触と  
肌の質感……両方を感じれるっ  
ああ幸せ……

カレーならライスと  
ルーを両方スプーンに  
乗せて味わうような  
感じ？

まあ……  
喩えとしては  
そんな感じかな  
……

モッ……

フカシ

ニ



おおっ  
これは……っ

名付けて…

「手の甲にバスローブの

布地を感じつつ

手の平にはオツパイ

だ!!

そのまんま  
だな

モ…

パ…



ま、まだ脱がさないの……？  
もう20分も触ってる  
んですけどお……

ん？ああ。  
コレあと30分は  
堪能したいかな

この乳狂いを  
舐めてたかも……

むちゅ……♡

たふっ♡

